

会社体験記

“学びながら働く”
学院生のリアルをお届けします

「俺をこき使ってください」
冗談と真剣さの共存

今日、話を伺うのは石窯パン工房ブルックリン 上越店でOJT(On the Job Training / 有償インターン)を行う高校2年生の木原さん。社長である長谷川さんと一緒に、「学びながら働く」感想や思いなどをインタビューしました。(取材学院一年生 土田あさひ)

— 現在、どんな仕事をしていますか？

木原「ブルックリンの調理場で惣菜パンの仕上げ作業や、材料の仕込みなどを行っています。忙しくなったらレジに入って、調理とレジを行ったり来たりしています。」

— 今の職場はどうですか？

木原「先輩達がノリを合わせてくれて、うれいんです。自分がギャグを言ったら、全員が笑ってくれます。」

— 仕事をしていて楽しいと思う瞬間はどんな時ですか？

木原「先輩達と声を掛け合いながら、パンを製造するのが楽しくて、やりがいを感じています。」

長谷川「木原さんは、パンの調理だけではなく、レジもできます。製造スタッフはパンづくりが好き



石窯パン工房 ブルックリン 上越店

素材・水・塩にこだわった手作りパンを提供する人気の石窯パン屋。

長岡市のパン工房ブルックリンの2号店として上越市に誕生した人気店。ブルックリンでは、「焼きたて」「揚げたて」「作りたて」のパンをお客様にお届けすることを大切にしています。たとえばカレーパンなら、多い日には1時間のうちに3~4回ほど揚げたてのものを店頭へ。新商品が沢山並ぶのも特徴。取り扱っているパンは、多い時には70種類を超えることも！スタッフの元気なよい声掛けやあいさつも人気の秘訣で、「ブルックリンにパンを買いに来ただけで、元気になれた！」というお客様からの声が届いています。

— 学校の勉強、活動と仕事はどのように両立していますか？

木原「仕事は、週4日の1日5時間勤務です。14時退勤で帰った後などに新潟産業大学附属高等学校 通信課程 (Mangata High School) のビデオ授業を見たり、出されたレポートを進めたりしています。」

— 将来どんな仕事をしたいと考えていますか？

木原「ブルックリンの仕事とは違うのですが、心理カウンセラーを目指しています。自分の経験も踏まえて、どんな児童や生徒でも心を開いてくれるようなカウンセラーになりたいと考えています。」

長谷川「ブルックリンでの、様々な年齢の先輩との仕事でのやりとりや、お客様とのコミュニケーションなど、パン製造の技術だけでなく様々な要素が将来の木原さんの糧になると思っています。大学進学の話も受けていますので、勤務日数や時間の調整もこれからですね。個人的にも応援しています。」

仕事の内容

厨房でのパン製造が主な業務。同じ製造のスタッフ同士で連携しながら、材料の仕込みから仕上げ・成形・焼成まで、一連の作業を実施している。土日や祝日などの忙しい時間帯には、レジに入ること。パンの新商品開発にも積極的に取り組み、既に店頭に並んだ商品もある。(3月6日(金)ライトシップ高等学院での社内PBL発表会にて紹介)



とある一週間

月	OJT
火	OJT
水	フリースクールでボランティア
木	登校日
金	OJTと塾
土	OJT
日	休み

大学進学に向けて、OJTと並行して受験勉強を開始。ボランティアは学院のカリキュラムではなく、本人が自らの経験のために参加。

会社体験記

“学びながら働く”
学院生のリアルをお届けします

「教える」ことで得た自信。
A-1利用など最新トレンドも

今月2人目に話を伺うのは株式会社加藤工務店でOJT(On the Job Training)有償インターンを行う高校1年生の渡辺さん。職場での上司である林社長と一緒に、「学びながら働く」感想や思いなどをインタビューしました。

— 現在は、どんな仕事をしていますか？

渡辺「社長がお客様と商談して作ったラフスケッチを、CAD(コンピュータ図面)として入力しています。他にも、完成した内装の写真をA-1で加工し家具を配置したイメージ画像を作ったりしています。」

林

「既存の設計事務所の業務に限らず、生成A-1利用など新しいことも体験してもらいたいと思います。様々な業務に関わってもらっています。何ができるか？に気を付けながら、仕事において大切なことを学んでもらいたいと思っていますが、まずは興味を持ってもらうことを優先しています。」

渡辺「この家でどんな暮らしをするのか、ストーリーを

伝えるのが重要だと、社長からよく教えてもらっています。」



株式会社加藤工務店

糸魚川市能生に本社を置く、地域密着型のハウプランナー

1961年の創業から60年以上、「厳しい自然を知り尽くしているから、私たちは『本当の心地よさ』をデザインできる。」をコンセプトに、上越・妙高・糸魚川を中心に、住まいに関してトータルサポート(設計・企画・施工・販売)。

「住む人にとって本当に良い家づくりとは何か」という問いを原点に、長年培ってきた技術・ノウハウ・経験を活かし、注文住宅をメインとして自社設計、自社施工を実施。木材の製材工場も自社で保有するこだわり。

働いてみて「成長した」「変わった」と感じるころはありますか？

渡辺「CADの操作など今やっていることは、まったく経験がなくて思っていたより思っていたが、できるようになってきたと思う。特にできるようになったと実感したのは、業務として、海洋高校の生徒を職場体験として受け入れたとき。同い年の高校生に対してCADを教える立場になったことで、思ったよりできるようになっていったんだな、と実感しました。」

林社長にお聞きします。OJTを受け入れようと思ったキッカケはありますか？

林「会社は人で成長する、と考えています。現在、社員は50代以降のベテラン層が中心になっていて、20代の若手も入ってきていて、20代が、もう少し若い人材に来てもらいたいと考えていました。通常の求人では、大卒や専門卒を対象に大手との勝負になる中で、学生のうちから企業に入り、活きた学びをするというライトシップさんの考え方がいいな、そういう高校生活アリだなと思いました。」

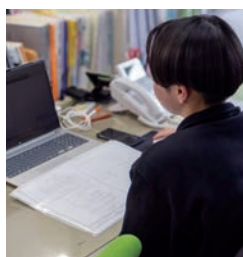
印象に残っているエピソードや、渡辺さんの成長を感じた瞬間はありますか？

林「あいさつを大きな声でしてくれるようになり、うちに馴染もうと思ってくれているのかなと思いました。」

渡辺「学院長が巡回に来た時に、そう指導を受けて。これからも気を付けていきたいと思っています。」

仕事の内容

上司である林社長の直属の部下として、同じ設計業務を行っている先輩の指導を受けながら、手書きのスケッチをCAD(コンピュータ図面)として書き直す業務を中心に行っている。施工現場に出向き、実際に家を建てるまでの工程や作業内容について学ぶことも。CADを中心に業務用のソフトウェアや生成AIなどを利用して、現場の作業改善の支援も実施している。



とある一週間

日	土	金	木	水	火	月
休み	休み	OJT	登校日	OJT	OJT	OJT

※通信制課程の勉強は平日夜などで進めたり、長期休みを利用して終わらせてたりしている。

お知らせ Information

3/6(金) 卒業式／社内PBL成果発表会
2/16に、順次ご案内をお送りいたしました。ご不明な点はお問合せください。

4/3(金) 入学式(新入生のみ)

新入生とその保護者のみで実施いたします。在校生との顔合わせ(交流会)は4/9(木)に予定しております。

あさひの編集後記

今回の取材は、私にとって驚きと発見の連続でした。

石窯パン工房ブルックリンで働く木原さんは、教わった仕事をこなすだけでなく、自ら新提案を提案し、実際に商品化まで実現させていました。また、加藤工務店の渡辺さんは、わずか半年間でCADの操作を習得しただけでなく、他校の生徒に「教える」ことができるほど技術を自分のものにしていました。

お二人の、与えられた環境の中で自ら成長の機会を掴み取り、能力を向上させていこうとする能動的な姿勢に、強い感銘を受けました。私自身も、お二人の姿に刺激を受けました。今の自分に満足することなく、より伝わる言葉選びや表現を学び、読者の皆さまに楽しんでいただける広報誌制作に挑戦していきたいと決意を新たにしています。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。次回の「ライトシップ通信」も、ぜひ楽しみにしてください！

■発行: ライトシップ高等学院

所在地: 〒942-0011
新潟県上越市港町1丁目9-1 直江津港佐渡汽船ターミナル2階
TEL.050-8889-2254

■広報紙 撮影・取材・文 土田 あさひ(ライトシップ高等学院 1年生)

所在地: 〒942-0074 新潟県上越市石橋2丁目6-27
TEL.025-546-7275
広報紙製作: 株式会社グローバルアセットモーションズ